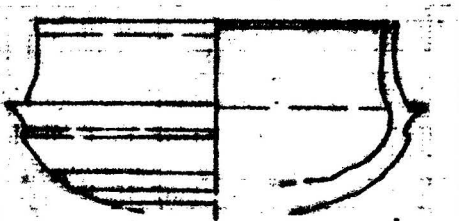
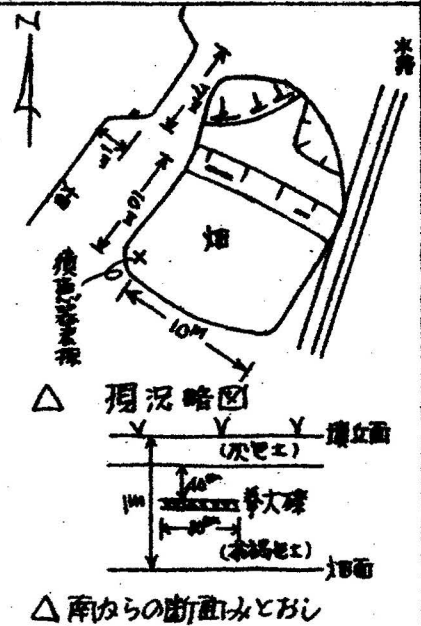


58	大久手第3号墳 (大久手下1号墳)	時代	古墳時代
		種別	古墳(円墳)
		規模	

「直径15.5m、高さ1.5mと推定される。墳丘には川原石の蓄石がみられる。」——「冨山の古墳の3」

現況は断面より約1m高い荒地。南側の断面に等大で横一列の磚層がみられる。畑の面兩隅(x印)で須恵器杯(下图)を採取。

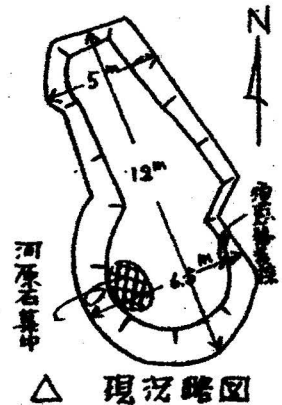


△ 須恵器杯 S. 1:2

59	大久手第4号墳 (大久手下2号墳)	時代	古墳時代
		種別	古墳
		規模	

「南北径11m、東西径4.5m、高さ1.7mの長方形の墳丘が残る。」——「冨山の古墳の3」

現況は、水田の中に高さ1.5~2m程の荒地として残る。墳丘は南北に長く不整形に削られている。墳頂の面兩隅に河原石が集中している。東側斜面で須恵器破片(下图)を採取。



△ 須恵器破片 S. 1:2